

探究演習

メディア情報4

第4回 ディベートの準備 (2) ロジックの検討

メディア情報コース

平居 悠（ひらい ゆたか）

到達目標

1. 大型望遠鏡建設計画の問題について自らの立場から論理的に説得力を持って説明できる。
2. 観測計画を自分の言葉でわかりやすく発表できる。
3. チームの目標を満足できる仕事の計画を協力して立てることができる。

前回

第1回	大型望遠鏡計画とハワイ先住民
第2回	対話の技術、ディベートの方法
第3回	ディベートの準備(1)立論、反駁、尋問
第4回	ディベートの準備(2)ロジックの検討
第5回	ディベートの準備(3)わかりやすい話し方
第6回	ディベートの実施 大型望遠鏡建設について
第7回	宇宙を理解する手法、観測計画の立て方
第8回	データ分析方法 データデータベースの使い方
第9回	問題解決の技術、プレゼンテーションの方法
第10回	プレゼンテーションの準備(1)データ分析
第11回	プレゼンテーションの準備(2)資料の収集
第12回	プレゼンテーションの準備(3)発表練習
第13回	発表会観測計画の発表

前回の目標

- 三角ロジックを使って立論を組み立てられる。
- 相手のロジックの弱点を見つけ反駁することができる。
- 相手や自分の思考を批判的に眺め、指摘できる。

前回の内容

立論の組み立て方

反駁の仕方

尋問の方法

論理的であるために必要なこと

- 1.主張を明確に示す。
- 2.根拠を過不足なく示す。

三角ロジック

A) 主張

TMTをマウナケア
に建設すべきだ

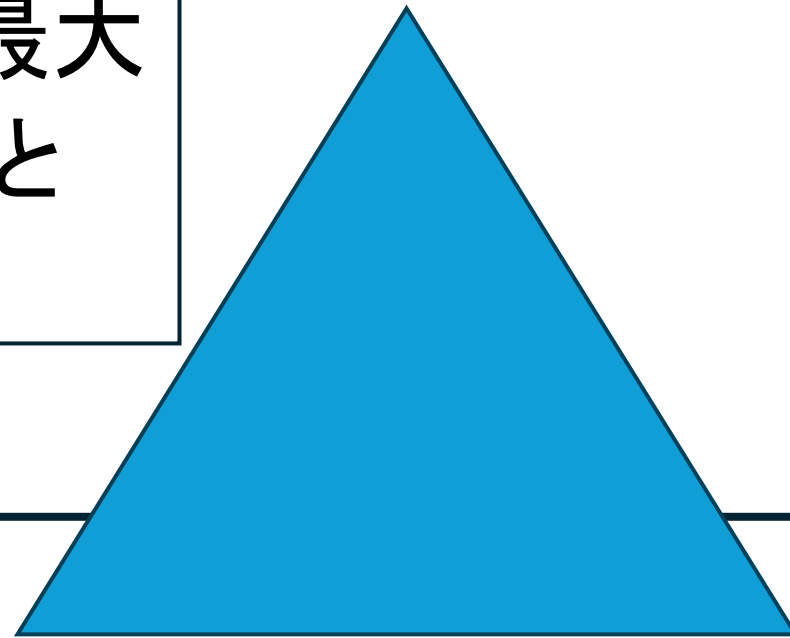
TMTの性能を最大
限に生かすこと
ができる

マウナケアは大気
の揺らぎが他の山
と比べて少ない

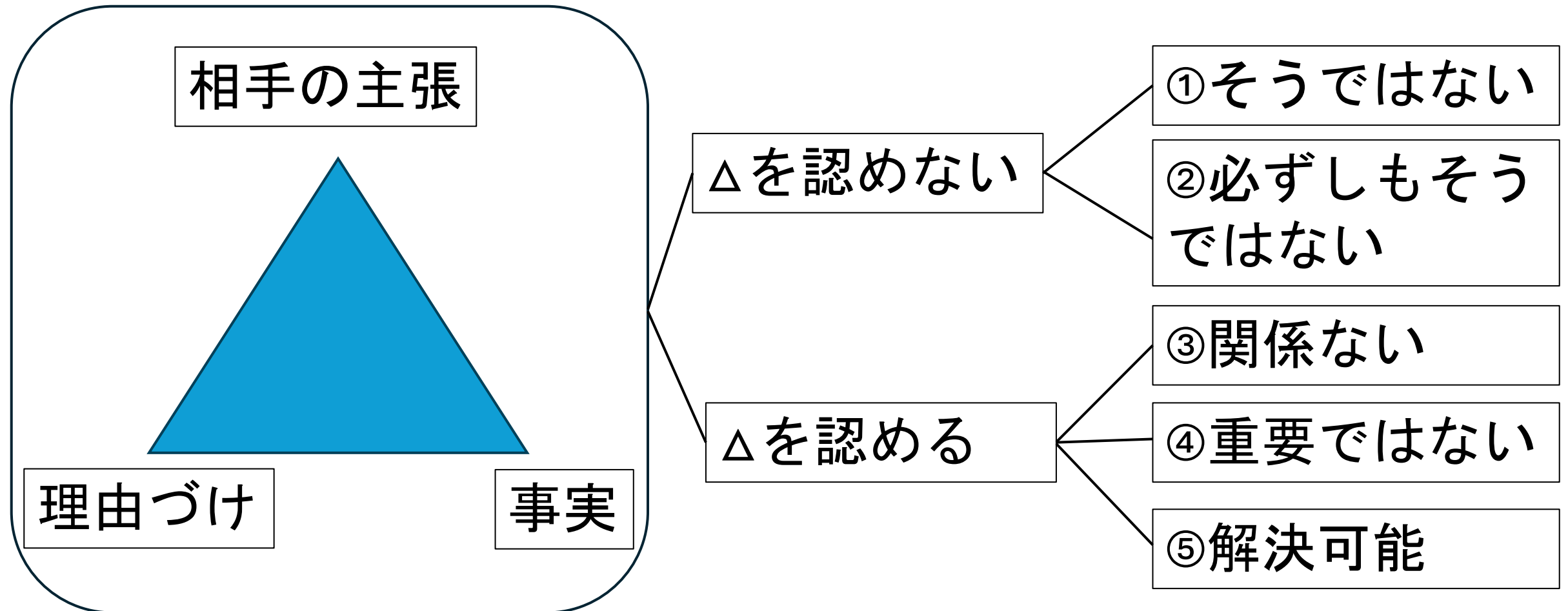
根拠

C) 理由づけ

B) 事実



反駁の型



批判的思考

対象に問題点はないかを検討すること、対象をより正確に眺め、妥当性を判断する思考の方法。

批判的思考の三つのステップ

1. 問題点の発見 「どこが怪しい？」
2. 問題点の明確化 「どうして怪しい？」
3. 問題点の解決 「何を聞く？」

尋問の目的

1. 相手側立論の不明な点を確認して、明らかにする。
2. 反駁に進むために必要な情報を引き出す。

全体の注意点

1. 主導権は尋問側にあり、応答側は質問されたことのみ答える。
2. 尋問側、応答側、共に簡潔に話すことを心がける。
3. 尋問を一方向的に複数並べるのではなく、「尋問 1 → 応答 1、尋問 2 → 応答 2」と進める。

今回

第1回	大型望遠鏡計画とハワイ先住民
第2回	ディベートの方法
第3回	ディベートの準備(1)立論、反駁、尋問
第4回	ディベートの準備(2)ロジックの検討
第5回	ディベートの準備(3)わかりやすい話し方
第6回	ディベートの実施 大型望遠鏡建設について
第7回	宇宙を理解する手法、観測計画の立て方
第8回	データ分析方法 データデータベースの使い方
第9回	問題解決の技術、プレゼンテーションの方法
第10回	プレゼンテーションの準備(1)データ分析
第11回	プレゼンテーションの準備(2)資料の収集
第12回	プレゼンテーションの準備(3)発表練習
第13回	発表会観測計画の発表

今回の目標

- 思考停止の罠の存在を知る。
- 素早く考え、反駁・再反駁ができるようになる。

今回の内容

ロジックの検討

立論の完成

第二反駁

今回の内容

ロジックの検討

立論の完成

第二反駁

三角ロジックの落とし穴 1 : みえない第3点

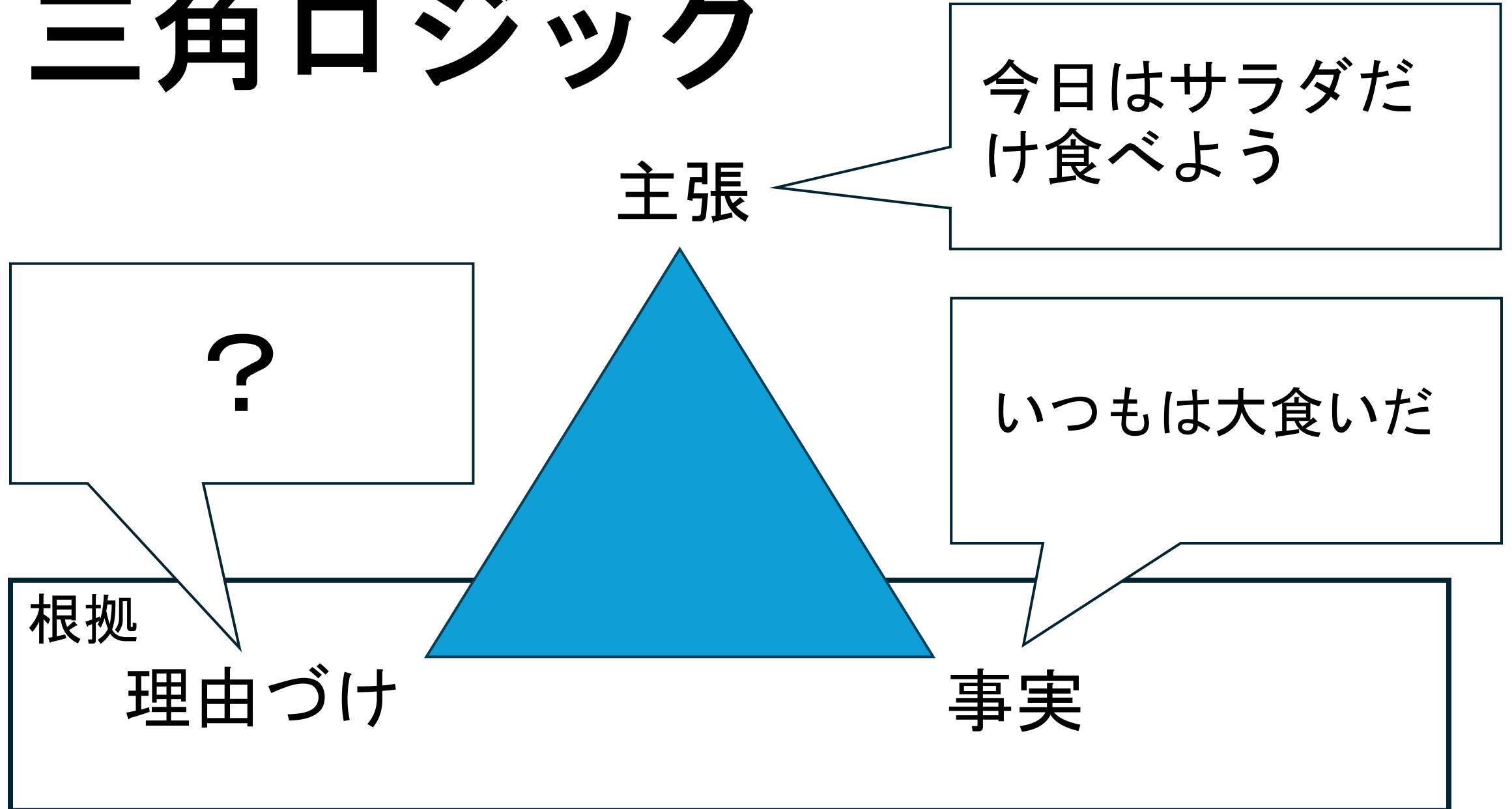
人は、二つの物事があると、その二つを関係あるものとして結びつけようとする傾向がある。

落とし穴状況 1

いつもは大食いのKさんが「今日はサラダだけでいいや」と言っています。Sさんは驚いてとっさに理由を推測しました。どんな理由でしょうか。

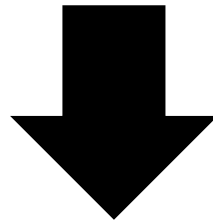


三角ロジック



思考停止の罠

安易な推測と決めつけ



みえない 1 点を見えたと思い込み、思考が停止してしまう。

落とし穴状況 2

午後の昼休み時間に、SさんはKさんがペットが死んでしまったと話しているのを聞きます。

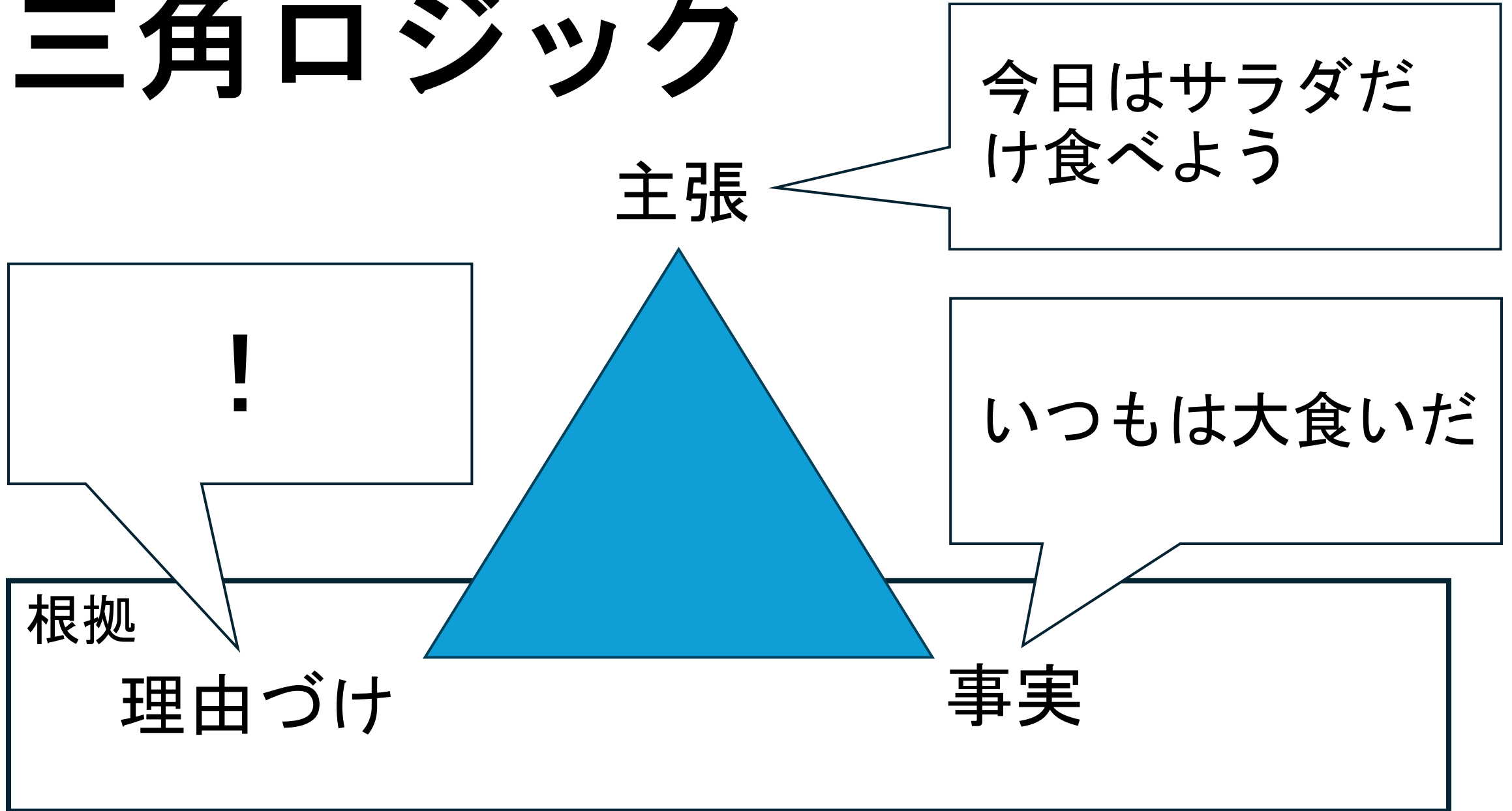


昨日、ペット
のポチが死ん
じゃって...

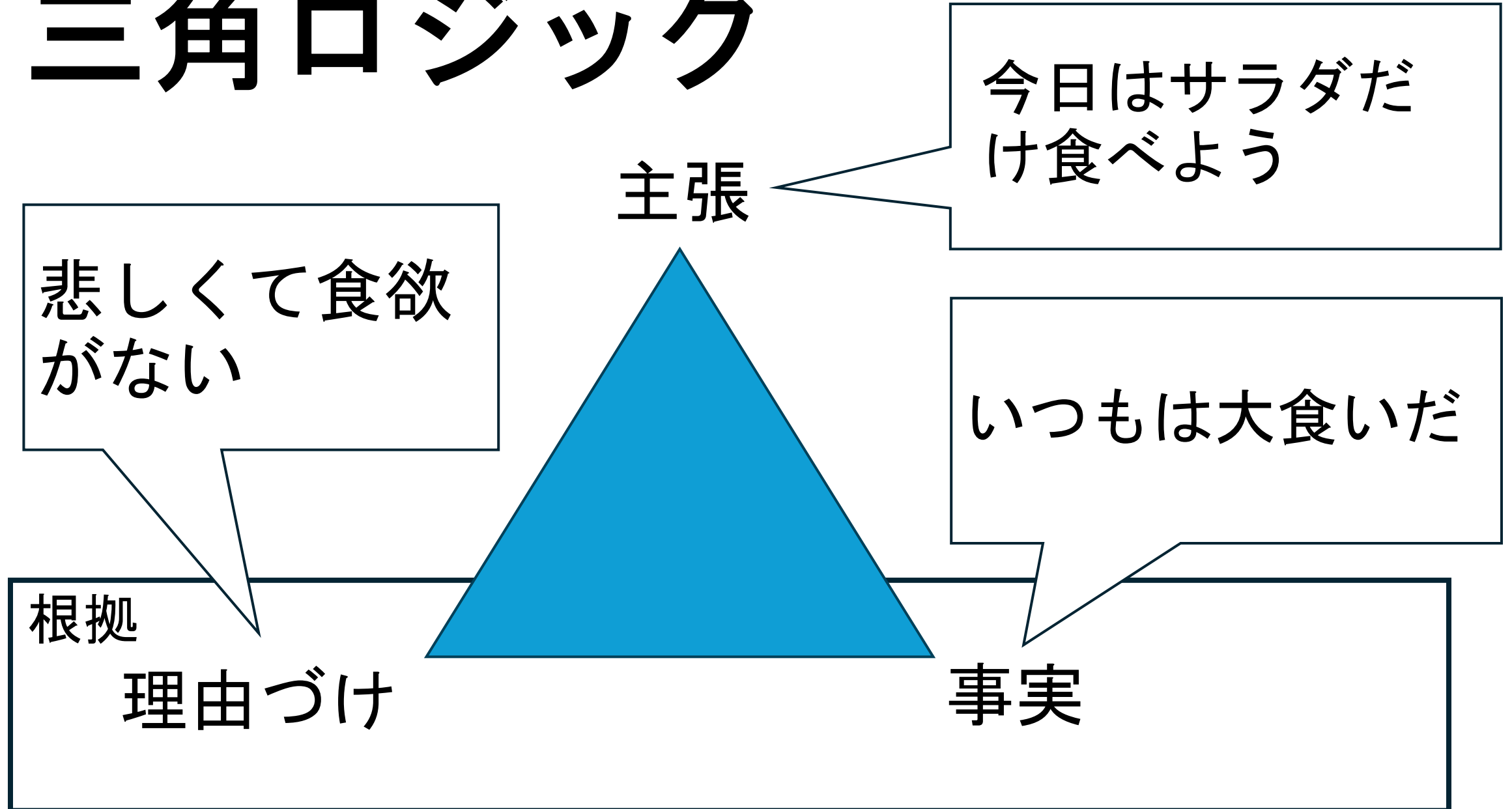
それはつら
いな...



三角ロジック



三角ロジック



落とし穴状況 2



ペットの葬儀代にたくさんお金を使っちゃった。



落とし穴状況 1

いつもは大食いのKさんが「今日はサラダだけでいいや」と言っています。Sさんは驚いてとっさに理由を推測しました。どんな理由でしょうか。



ロジックの検討

強固なロジックを作るためには、
多角的な視点で繰り返しロジック
を眺めることが必要

落とし穴状況 3

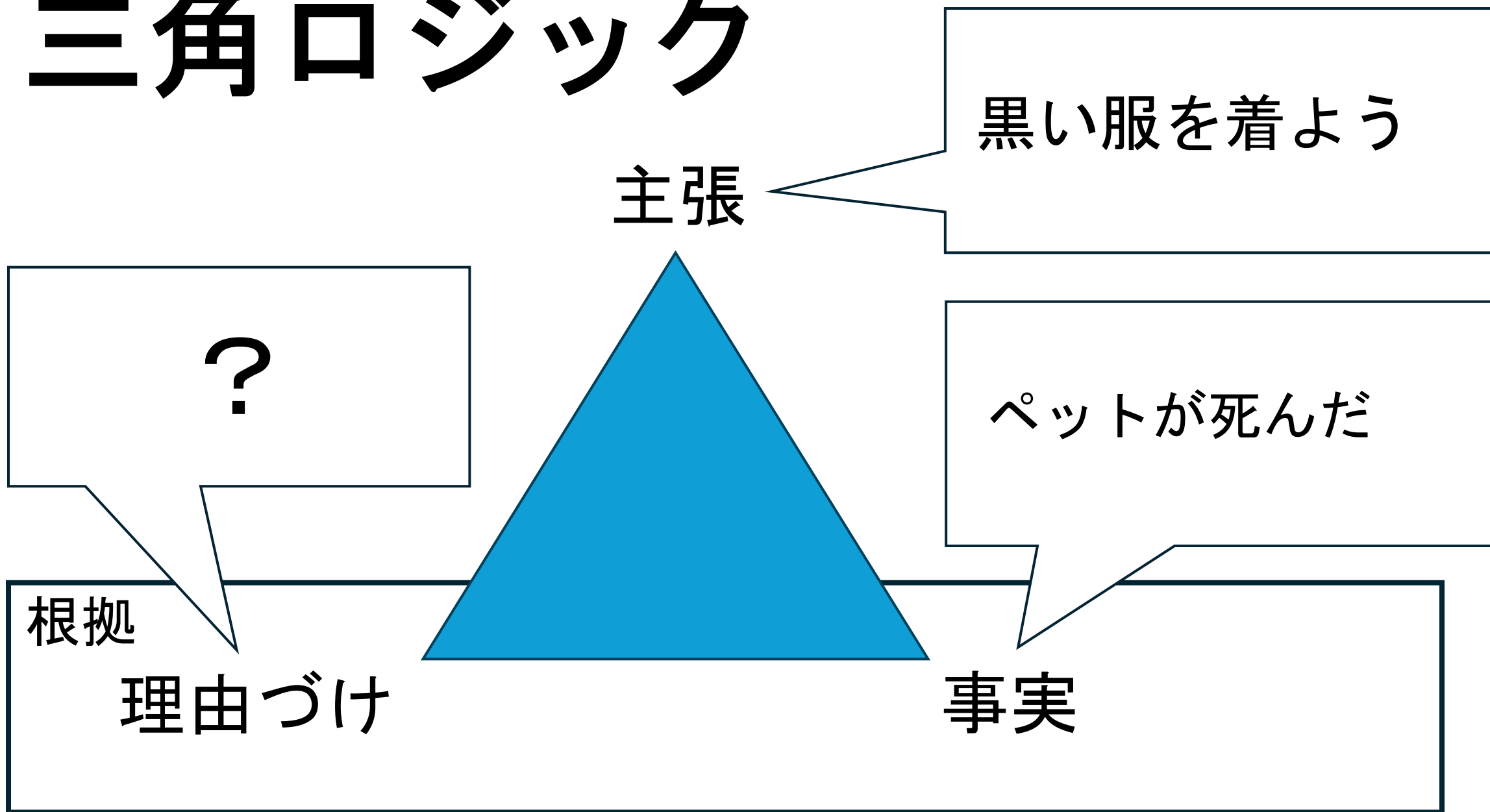
Kさんが最近黒い服を着ているのは、



最近黒い服が
多いね



三角ロジック



落とし穴状況 3

Kさんが最近黒い服を着ているのは、



黒が好きだった姉が最近ピンク好きになって黒い服はもういらなくなって言ったの。



三角ロジック

主張

黒い服を着よう

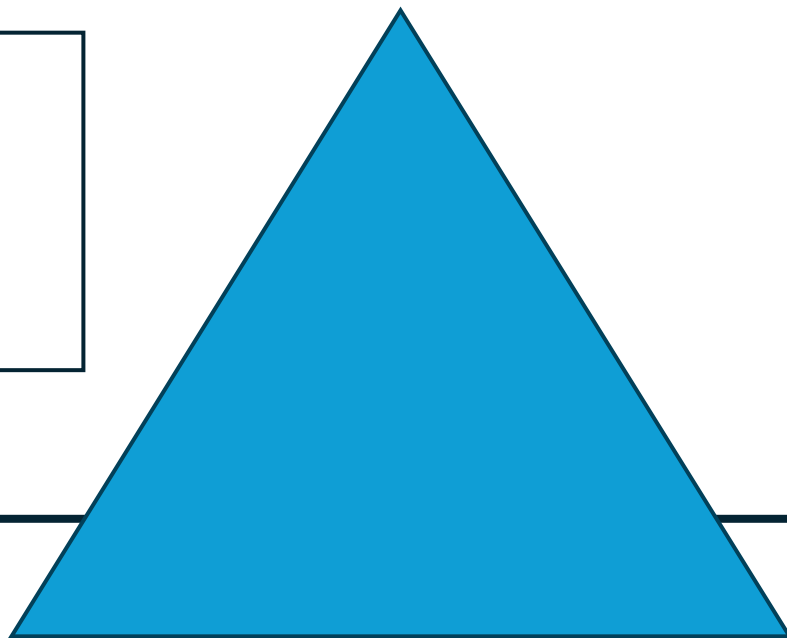
ただで黒い服が
もらえる

根拠

理由づけ

黒が好きだった姉が
ピンク好きになった
黒い服を処分したい

事実



今回の内容

ロジックの検討

立論の完成

第二反駁

課題（立論）

論題について賛成と反対の立場からそれぞれ立論案を作成する。

s4探究演習(メディア情報4)「#03 課題(立論)」に指示通り書き込む。

締め切り：10月25日(日)

試合で使う立論を決めよう

1. グループのメンバーが書いた立論の中から、ディベートの試合で使うものを肯定側、否定側それぞれ2つ決める。
2. 立論を完成させる。

立論のフォーマット

これから[肯定・否定]側立論を行います。[肯定・否定]側は、TMTはマウナケアに建設すべきで[ある・ない]と主張します。論題を実行することで起きる[メリット・デメリット]は2点あります。[メリット・デメリット]の1点目は主張です。なぜなら、理由づけからです。「<肩書き>の<著者名>・<機関名>」によると、事実。[メリット・デメリット]の2点目は主張です。なぜなら、理由づけからです。「著者名・機関名」によると、事実。[つまり・このように]理由づけから、主張のです。以上のことから、[肯定・否定]側は、TMTはマウナケアに建設すべきで[ある・ない]と強く主張します。これで[肯定・否定]側立論を終わります。

今回の内容

ロジックの検討

立論の完成

第二反駁

第二反駁

ここまでの内容に関連付けながら、相手側への反駁を行った後、これまでの議論全体のまとめとして、自分たちの立場の方が相手より優位であることを説明する。

第二反駁の構成

- 1.反駁（相手への攻撃）
- 2.再反駁（自分達の守備）
- 3.まとめ（総括）

立論を検討し、役割を決定しよう

1. 先ほど考えた立論から、予想される尋問・第一反駁・第二反駁をいくつか考えて書き出す。
2. どの反駁が強そうか、他にどんな反駁ができそうかを話し合いながらそれらをメモする。
3. 2.の反駁をするために、尋問で何をどのように聞いたら良いか（情報確認・詳細要求など）話し合う。
4. ここまでの話し合いを踏まえて、メリット・デメリット、立論全体について再検討する。
5. 試合で担当するスピーチの役割を決める。

今回の内容

ロジックの検討

立論の完成

第二反駁

今回の目標

- 思考停止の罠の存在を知る。
- 素早く考え、反駁・再反駁ができるようになる。

課題（ディベートフォーマット）

ディベートフォーマットの担当箇所を完成させる。

s4探究演習 (メディア情報4) 「#04 課題 (ディベートフォーマット)」にファイル添付で提出する。

締め切り：11月1日(日)

次回

第1回	大型望遠鏡計画とハワイ先住民
第2回	ディベートの方法
第3回	ディベートの準備(1)立論、反駁、尋問
第4回	ディベートの準備(2)ロジックの検討
第5回	ディベートの準備(3)わかりやすい話し方
第6回	ディベートの実施 大型望遠鏡建設について
第7回	宇宙を理解する手法、観測計画の立て方
第8回	データ分析方法 データデータベースの使い方
第9回	問題解決の技術、プレゼンテーションの方法
第10回	プレゼンテーションの準備(1)データ分析
第11回	プレゼンテーションの準備(2)資料の収集
第12回	プレゼンテーションの準備(3)発表練習
第13回	発表会観測計画の発表